

2025年10月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当 J A は、「富士伊豆からつなぐ～大地と地域と農業のみらい～」のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまの安定的な資産形成・資産運用ならびに、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた安心・安全で豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当 J A と全国共済農業協同組合連合会（以下 J A 共済連）が、共同で事業運営しております。J A 共済連の「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針等」は、J A 共済連のホームページをご参照ください。

富士伊豆農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当JAは、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- なお、お客さまの最善の利益の実現につながる取組みとして、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	9 (前年度末：9)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	11 (前年度末：11)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

➡ JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

1	長期投資	長期投資を前提とした投資信託であること
2	手数料	手数料が良心的な水準であること
3	運用実績	過去の運用実績が相対的に良好であること
4	将来性	資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5	運用体制	運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※ JAバンクセレクトファンドマップより転載

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

お客さまが生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しています。

なお、当JAは、市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

JA共済総合満足度調査結果（令和7年3月末時点）

総合満足度94.9%

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供①

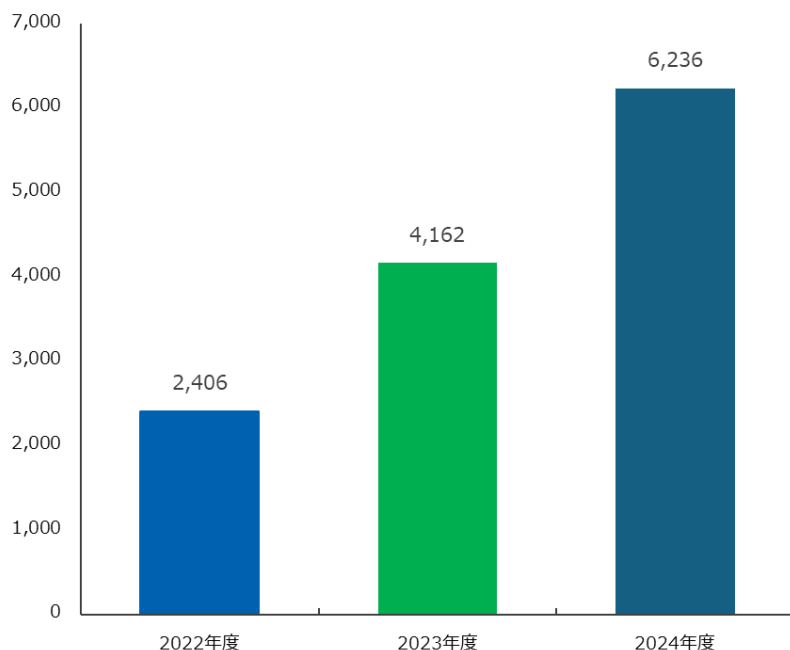
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

(1) 信用の事業活動

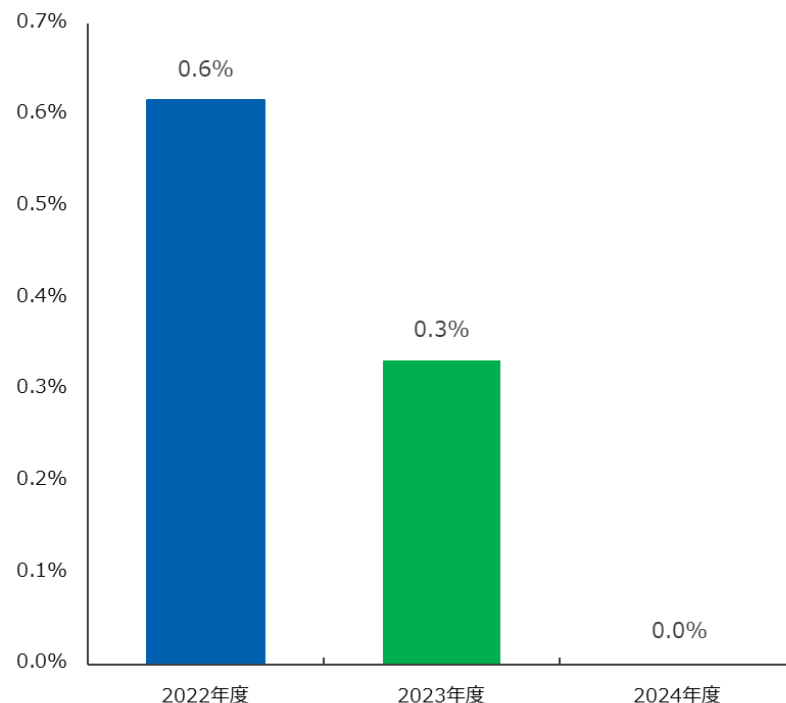
- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまの比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



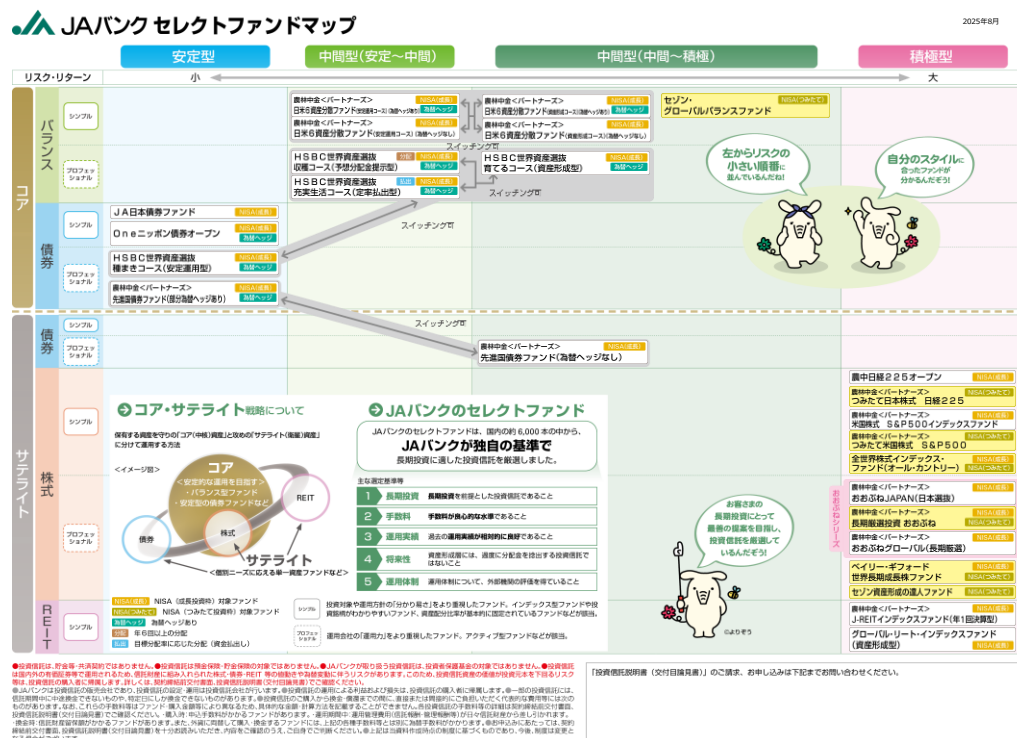
I. 取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

（１）信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



一定の投資性金融商品の販売・販売終了に係る「重要情報シート」
(金融事業者欄)

1. 当組合の基本情報（当組合および親に金融商品の販売（又は販売終了）を希望する）			
組合名	東士投資信託協同組合		
登録番号	東海財務局長（管金）第144号		
加入協会	ありません		
当組合の概要を記したウェブサイト	www.ja-fgju.co.jp		

2. 金融商品の（当組合お客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）			
野金（投資性なし）	○	野金（投資性あり）	—
国内債券	—	外国債券	—
円建て債券	○	外国円建て債券	—
特設金債券（仕組債券等）	—	投資信託	○
ファンドラップ	—	ETF、ETN	—
REIT	—	その他の上場商品	—
保険（投資リスクなし）	—	保険（投資リスクあり）	—
これら以外の商品	IDNo		
※他に共通を勘定しております。			

3. 商品ラインナップの考え方（商品募集のコンセプトや留意点は次のとおりです）			
・JAバンクでは、いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、お客さまにとっての選びやすさも考慮し、一定の商品品目に絞った「JAバンク セレクトファンド」を商品として提供しております。 ・「JAバンク セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の基準をもとに商品を選定しております。選定にあたってはすべて有価証券の発行も請求も終了しており、定期的に各商品の運用実績などのモニタリングも行っております。 ※有価証券の運用の場面に於いて、「投資期間」を利用した投資商品提供であること（いわゆるターマンプラン提供ではないこと） ※手数料、手数料が低減の方向にあること ※運用実績 過去の運用実績が現状に良好であること ※特長等 これらから特に際立つ特長を挙げていく基準を適度にとりながら、適度に分散を促せる投資商品ではないこと ※運用形態 運用形態について、有価証券の運用であること ・上記の考え方が元になっています。ホームページにも掲載しております。 https://www.jabank.com/jp/tamenu/tousisainisaku/select/			
・なお、投資に関する好みについては、JAバンクでは、郵便組合員・利用者の皆さまのリスク許容度（※1）を確認し、リスク許容度に応った商品推薦をご案内しております。 ※1 リスク許容度とは、どの位の損益を許容するかを事前に診断するもので、JAバンクでは、リスク許容度を4段階し、それぞれのリスク許容度に応った商品推薦をご用意しております。			

4. 苦情・相談窓口	
当組合の苦情相談窓口	055-957-0022
加入協会共通の相談窓口	ありません
金融庁金融サービス利用相談課	0570-016811（03-5251-6811）

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- ①お客さまの一人ひとりのライフステージや加入目的・ライフプラン等に応じ、各種公的保険制度を踏まえた、最適な保障・サービスをご提案しました。
- ②保障のご加入にあたり、お客さまのご意向を的確に把握・確認し、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、お客さまに対する心からの優しさや思いやりをもって、分かりやすく丁寧な重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施しました。重要な事項や注意事項についてお客さまにご理解いただけるよう努めました。
- ③お客さまに対しては、十分ご納得、ご満足いただけるよう、「保障設計書」や「意向確認書」等を使用して、分かりやすい説明と意向把握を徹底し、特に70歳以上のお客さまに対しては、ご提案時・ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、次世代の方を含め「A共済の安心感・信頼感」を伝える対応を行いました。
- ④保障のご加入にあたり、共済掛金の他にお客さま皆さまに手数料等のご負担はございません。
- ⑤各種手続きの実施にあたり、お客さまに対して丁寧に分かりやすい説明を行いました。
- ⑥3Q訪問活動（日頃の御礼を兼ねた保障漏れや請求漏れの確認による保障点検活動）を通じて「安心」と「満足」の提供を行い、より安心いただけるアフターフォロー活動を実施しました。

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

高齢者対応割合（令和7年3月末時点）

親族同席有	電話等による親族確認	親族同席有 ＋ 電話等による親族確認
70.8%	20.7%	91.5%

3Q活動件数（令和7年3月末時点）

3 Q 活 動		
年度始 加入契約者数	実 績	実施割合
184,733人	80,827人	43.7%

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 当ＪＡは、営業部門から独立した「リスク管理部 リスク管理課」を設置のうえ、定期的なモニタリングにより利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

① お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当ＪＡは、販売担当者などへの資産形成サポートプログラムの実施、階層別研修会への参加、通信教育の受講、各種資格の取得などを通じて、高度な知識を持った職員を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

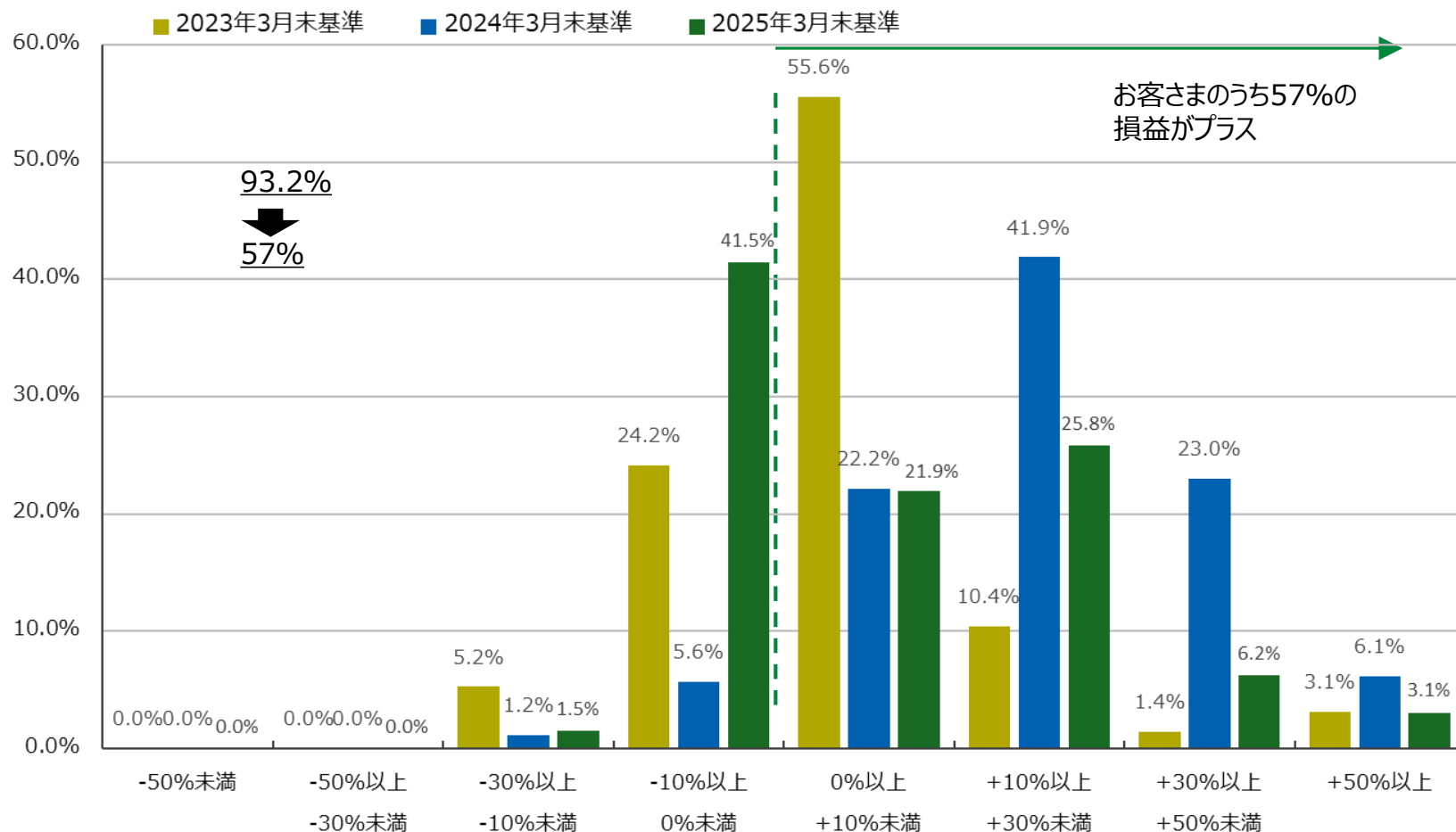
② お客さまの声を活かした業務改善

- 当ＪＡは、お客さまの声を業務改善に活かすため、「組合員訪問活動」など、定例的な訪問活動を通じて、お客さまからいただいた声を誠実に受け止め、業務改善に努めております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別お客さま比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の57%のお客さまの損益がプラスとなりました。

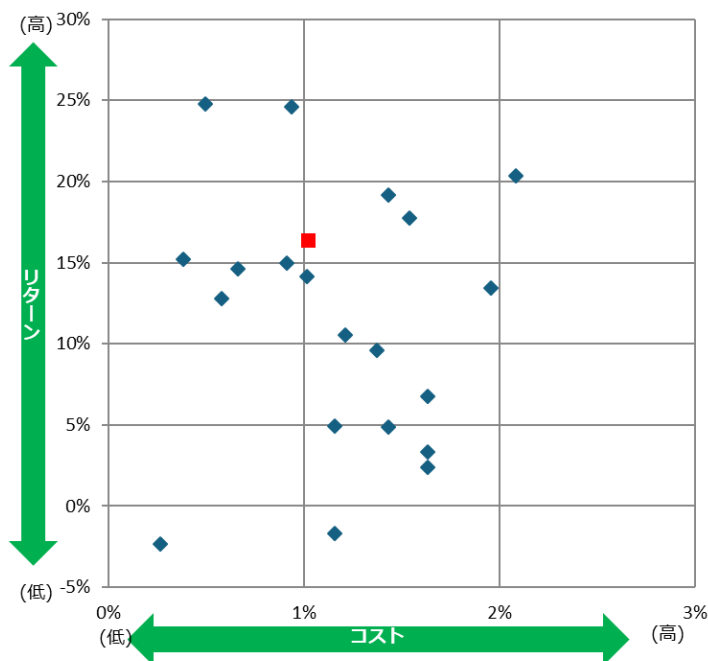


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

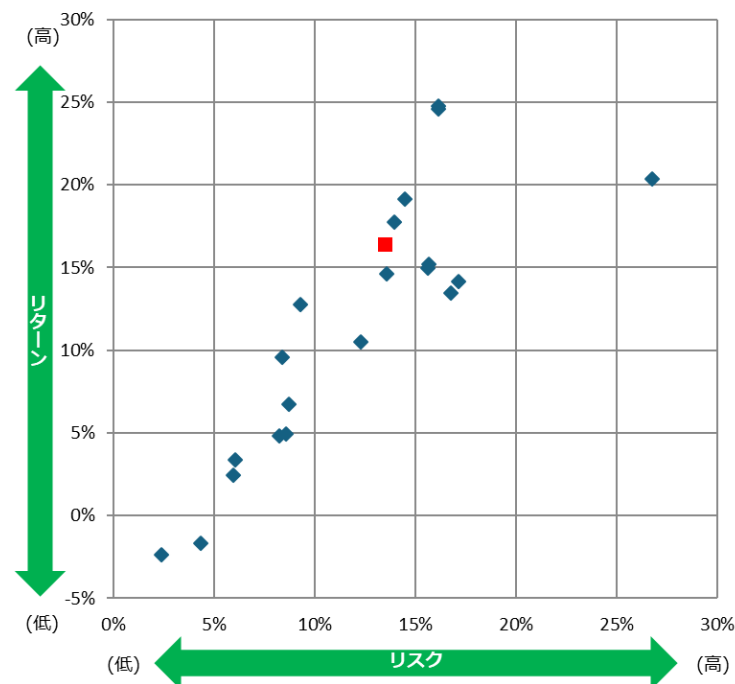
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.02%、平均リスク13.49%に対して、平均リターンは16.39%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



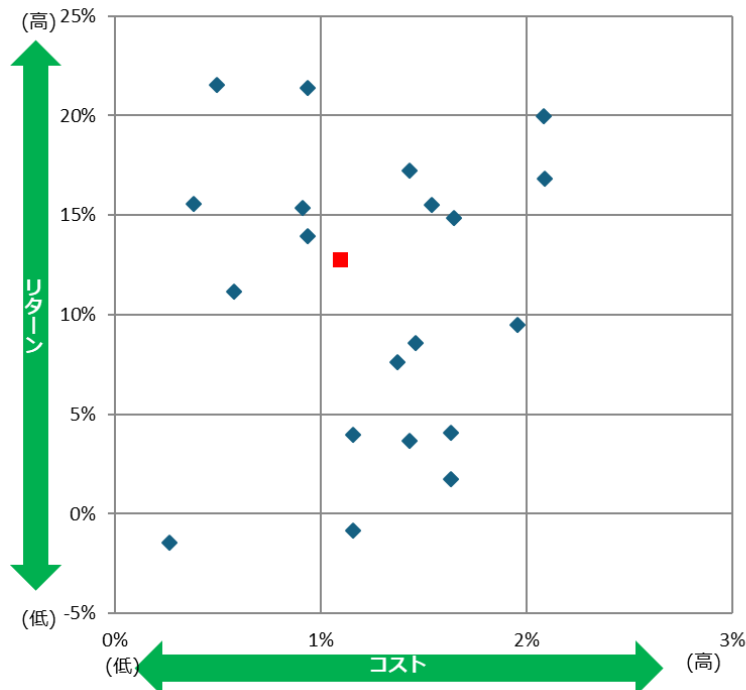
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

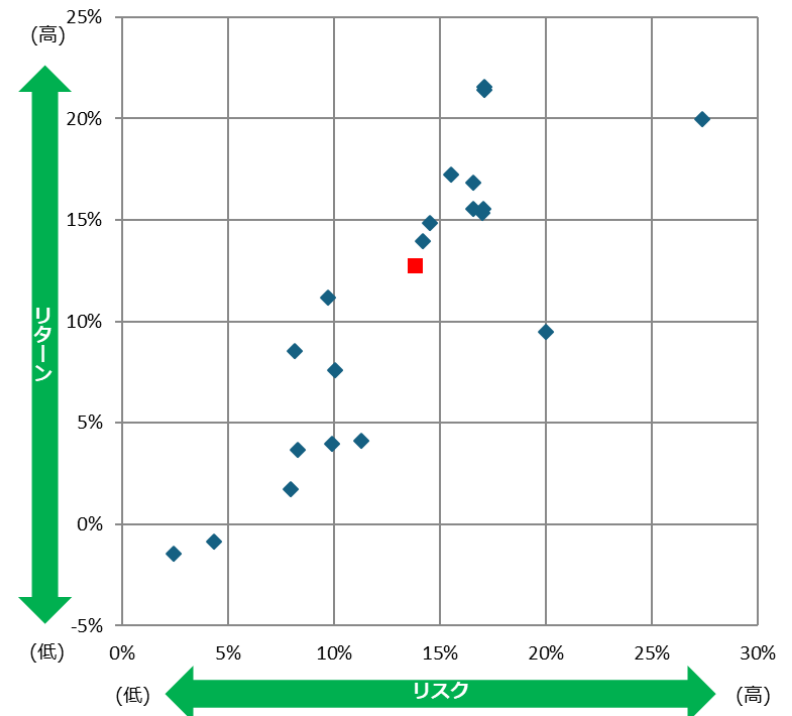
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.10%、平均リスク13.83%に対して、平均リターンは12.75%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



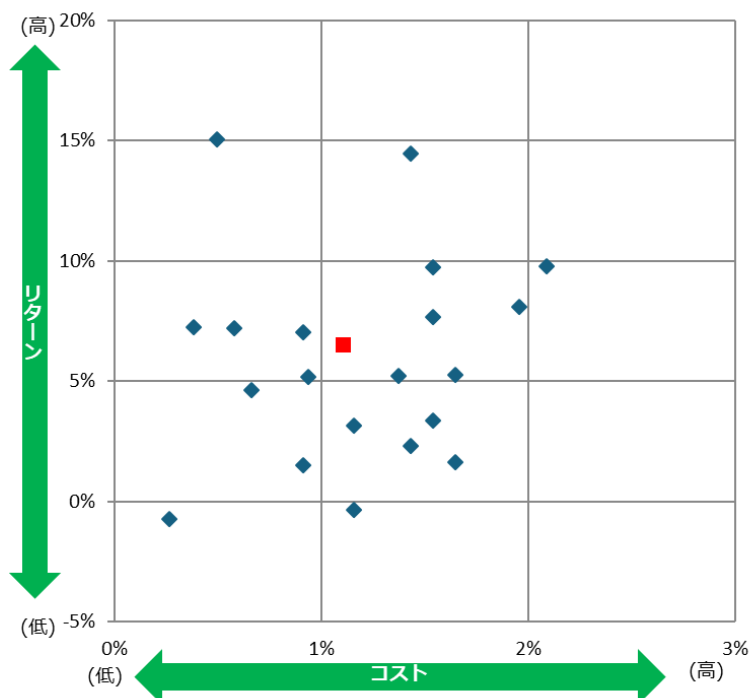
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

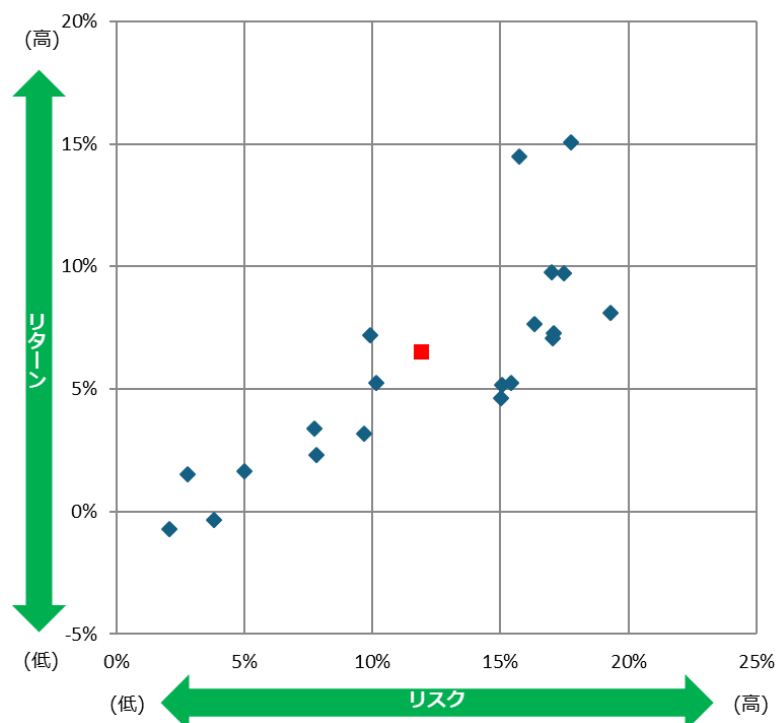
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.1%、平均リスク11.9%に対して、平均リターンは6.5%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
9	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
10	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
11	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
12	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
13	HSBC世界資産選抜 収穫J-ス(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
14	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
15	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	9.60%	8.39%	1.38%
16	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	4.84%	8.22%	1.43%
17	ダイワ・グローバル R E I T ・オープン	大和アセットマネジメント(株)	13.46%	16.74%	1.96%
18	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
19	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
20	H S B C世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型)人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.39%	13.49%	1.02%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
8	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
9	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
10	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
11	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
12	HSBC世界資産選抜 収穫J-ス(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
13	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
14	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
15	ダイワ・グローバルR E I T ・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
16	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
17	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
18	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	16.82%	16.55%	2.09%
19	J A日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.87%	14.53%	1.65%
20	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		12.75%	13.83%	1.10%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.2%	9.7%	1.2%
2	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.3%	3.8%	1.2%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.5%	15.7%	1.4%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.1%	17.7%	0.5%
5	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.2%	10.1%	1.4%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.0%	17.0%	0.9%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.7%	17.5%	1.5%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.2%	9.9%	0.6%
9	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.3%	7.8%	1.4%
10	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.1%	19.3%	2.0%
11	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.3%	17.1%	0.4%
12	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.7%	2.1%	0.3%
13	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.2%	15.1%	0.9%
14	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.5%	2.8%	0.9%
15	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.7%	16.3%	1.5%
16	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.8%	17.0%	2.1%
17	J A日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.2%	15.4%	1.7%
18	J - R E I Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.6%	15.0%	0.7%
19	J A海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	1.6%	5.0%	1.7%
20	J A資産設計ファンド(成長型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.4%	7.7%	1.5%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.5%	11.9%	1.1%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。